

揖斐川町防災ハザードマップ

～地域住民の適切な避難行動を学ぶために～

地震及び近年頻繁に発生する豪雨等により、ため池が決壊した場合を想定したはん濫解析を行い、その結果(はん濫規模)と避難場所等に係る情報を分かりやすく地域住民に伝え、将来発生するかもしれない災害への備えと、人命を含む被害の軽減を図るため、「防災ハザードマップ(A3版両面)」を作成しました。



ArcGIS Proにて災害リスク、避難所に関する位置情報を管理したベースマップを作成しました。



作成したベースマップにて、地域の地形と危険区域をエンドユーザーである地域住民に対して、視覚的に分かりやすく伝えるために、Adobe Illustratorで地図面を作成しました。

ハザードマップの情報に必要となる3つの要素

地域
情報

災害
情報

避難の
あり方

A3版の紙面に情報を集約し、情報面を最適化!

ため池の怖さと、危険から逃げる方法を
大きなイメージイラストで伝える

①ため池災害のイメージ

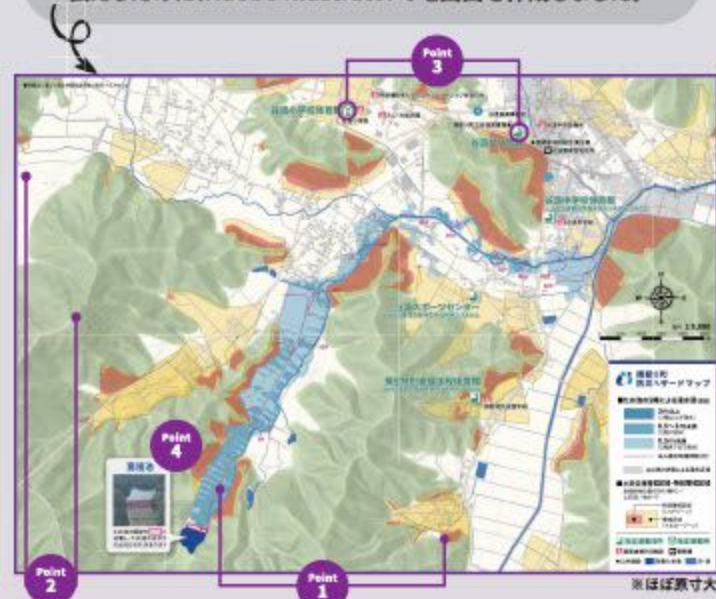
ため池災害発生から避難までの流れの中で注意しておくことを
イラストで分かりやすく伝える

②これだけは知ってほしい! 2つのこと

- 1 重要なMAPから災害情報を読み取り、自分の置場所の危険性を知る
(読者が記述する)
- 2 気象情報に応じたとるべき行動を知る
【マイタイムライン】
スペースが少なくても避難行動の順序に即応して(読者が記述する)

情報の入手先 (QRで読み取る)

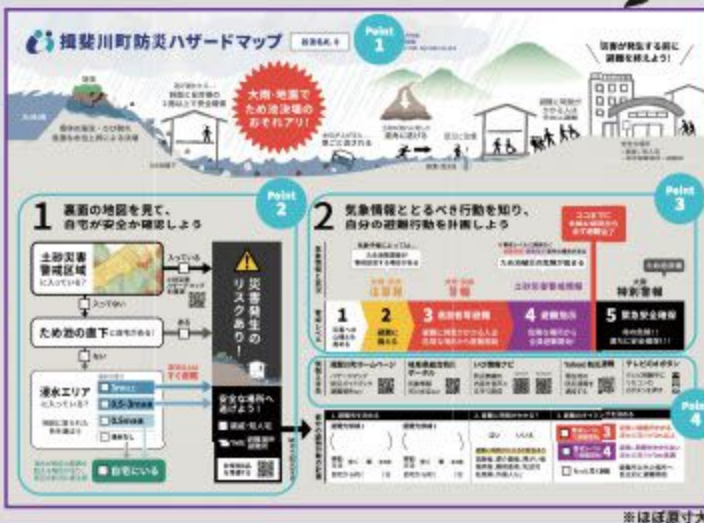
災害時の自分の行動を
事前に計画する
(読者が記述する)



地図面の作成ポイント

- 1 土砂災害の特別警戒区域(赤色)・警戒区域(黄色)とため池の浸水想定区域を直感的に判断できるように、ため池の浸水深を青のグラデーションで表示
0.5m未満 0.5m～3m未満 3m以上
- 2 町域の約90%を占める山地(3D表現)と平地の境を見やすく表示
- 3 指定避難場所・指定避難所の図記号はJIS規格を採用
- 4 ため池の現状がわかるようにUAVで撮影した航空写真を活用

指定避難場所 指定避難所



情報面の作成ポイント

- 1 ため池・土砂災害リスクと地域の地形(高低差など)との関係をイラストで表現(ビジュアル化)
- 2 災害が発生した時の地域のリスクに応じた適切な避難のあり方を見やすいチャート形式で表示
- 3 気象情報に応じたとるべき避難行動を視覚的に表示
- 4 文字数を極力削減し、プッシュ型で必要な情報が入手できるようにQRコードを活用